

令和4年度 小豆島オリーブ検定(マイスター検定) 正解表

設問	正解	解説	出典	設問	正解	解説	出典	設問	正解	解説	出典
問1	3	主に外国の文献を参考に作成され、オリーブの栽培・加工などが記載されている		問18	3	令和4(2022)年は19件の届出が受理された		問35	3	着果率は低下する	
問2	2	大正8(1919)年の開園当時の名称は「シマムラオリーブ園」であった		問19	1	届け出はされているが、受理された事例はまだない		問36	3	含有率は増加しない	
問3	3	宮内省大膳頭の福羽逸人子爵の来島を請い、栽培や加工について指導を受けた	テキスト11,14	問20	1	オリーブ農場としては全国で初めてASIAGAP認証を取得した		問37	1	剪定は新芽が生長をはじめる2月下旬～3月上旬が適期とされている	
問4	3	お手まきされたオリーブのうち一本は、現在の小豆島オリーブ公園に移植され立派に成長している	テキスト26	問21	2	田園調布にあるアトリエには、小豆島から持ち帰ったオリーブの苗木が今も植栽されている		問38	4	苦土石灰を土壌に混ぜて弱アルカリ性とする	
問5	2	昭和41(1966)年農林省指定オリーブ試験を廃止	テキスト16	問22	3	景品表示法第31条の規定による		問39	1	他の農薬は、有機JASでの使用が認められている	
問6	1	②チリ ③フランス ④イタリア		問23	1	届出ではなく、営業許可が必要である		問40	4	梢枯病を対象とした登録農薬である	
問7	4	カヨヌはオイル用品種である	テキスト79-81	問24	2	全国13自治体が一堂に会し、国産オリーブの魅力を高め、世界に発信していく活動に取り組むことを宣言した		問41	2	5品すべてが小豆島産	
問8	4	フラントイオはオイル用品種で、収量が安定して多い優良品種		問25	4	平成30(2018)年、香川県オリーブオイル官能評価パネルが国際オリーブ・カウンシルの公式パネルに認定され、以降5年連続で認定を受けている		問42	3	昨年の最高点より2点増加した	
問9	2	品種により、大小、形態、葉色、毛茸の多少などの差異がある	テキスト77	問26	2	タイプA(基礎検査)での認証を受けた		問43	2	令和5(2023)年2月時点で45か国が加盟している	
問10	3	フランシスコ会がミッション(布教所)でオリーブを栽培していたなかで、見出された品種		問27	4	香川農試から静岡農試に転任し、花王石鹸勤務後、再び香川に戻り香川農専(後の香川大学農学部)でオリーブの研究を行い、香川大学を昭和33(1958)年に定年退官	テキスト15	問44	3	Knowledge Sourcing Intelligence発行のオリーブオイルの世界市場予測(2022年～2027年)における調査結果である	
問11	3	①、④明治40(1907)年導入 ②大正5(1916)年導入 ③昭和7(1932)年導入		問28	2	オリーブ百年祭の記念事業の一つとして実施された	テキスト23	問45	2	前年比0.7%増の431億円となった	
問12	4	アザバはチリ原産である		問29	3	農薬取締法第九条第二項の規定に基づき、有機塩素系農薬の販売の禁止が定められている	テキスト18	問46	②	エキストラバージンオリーブオイル(小豆島産セントキャサリン種)	
問13	1	47.9haで、全国の9.5%の栽培面積を占めている		問30	2	ビタミンEを含んでいる		問47	①	精製オリーブオイル	
問14	3	栽培面積、収穫量ともに香川県が全国第1位である		問31	2	広義のバージン・オリーブオイルに区分されており、そのままでは食用に適さない	テキスト87	問48	⑤	エキストラバージンオリーブオイル(小豆島産ミッション種)	
問15	3	2,351,965千円で、輸入国3位である		問32	4	一般的に油1gは、約9Kcalでオイルの比重は約0.91		問49	④	オリーブオイル(某大手メーカー販売スペイン産)	
問16	4	前年比1%増となった		問33	2	オリーブぶり、オリーブハマチに続き、平成30(2018)年にオリーブマダイがブランド化された		問50	③	エキストラバージンオリーブオイル(小豆島産ルッカ種)	
問17	1	1,392,470tで、世界1位である		問34	2	できるだけ幹に近い箇所を枝を直角に切る					